

主要出陳資料・一覧（吉野町内に所有者が有る文化財は、備考欄に文化財指定である旨明記しています）

1. 紫式部と『源氏物語』～その後の展開を含む

資料名など	作者・訳者ほか	種類	原本成立時期	備考
日本絵巻大成1 源氏物語絵巻 寝賢物語絵巻	小松茂美 和紙	図書	平安	館蔵
更級日記	西下経一 校注	図書	平安	館蔵
花鳥余情	一条兼良	図書	室町	原本重文、個人
源氏物語補作 山道の露・雲隠六帖他 2編	今西祐一 編注	図書	鎌倉～江戸	個人
修紫田舎源氏	柳亭種彦	図書	江戸	個人
好色一代男	井原西鶴	図書	江戸	個人

	図書名				作者・訳者ほか				種類				所蔵			
	図書名	作者・訳者ほか	種類	所蔵	作者・訳者ほか	種類	所蔵	作者・訳者ほか	種類	所蔵	作者・訳者ほか	種類	所蔵			
紫式部	平安時代にタイムスリップしたら 紫式部になってしまったらどうなるか	中野悠月	小説	個人	源氏物語	赤塚不二夫	マンガ	個人	源氏物語	美しの花丸	山崎 個人	源氏物語	美しの花丸	山崎 個人		
	光る君へ前編 源氏物語の謎	大瀧 智恵 フタノタツ	図書	個人	Table of Genji	井出清春恵	マンガ	個人	GENII 源氏物語	きら	マンガ	個人	GENII 源氏物語	きら		
	紫式部	宮川孝治ほか	マンガ	個人	知楽源氏	杉村喜光	マンガ	個人	十二単衣を着た悪魔	内館政子	小説	個人	平安後宮の輝紅姫	遠藤蓮		
	平安あかしあややと陰陽師	こはく ほか	マンガ	個人	光源氏と不機嫌な花嫁 源氏物語の謎	春秋子	小説	個人	護一郎 前次郎 源氏物語	石井勝彦	小説	個人	光源氏と不機嫌な花嫁 源氏物語の謎	春秋子		
	超群 百人一首 1巻	杉田 圭	マンガ	個人	与謝野晶子の源氏物語	与謝野晶子	小説	個人	源氏物語	大塚ひかり	小説	個人	源氏物語	大塚ひかり		
	清明はがんばらない	方輝ゆとり	マンガ	個人	源氏物語 時の姫君 源氏物語の謎	榎本 大樹	小説	個人	源氏物語	藤井 智子	小説	個人	源氏物語	藤井 智子		
	ハーメルスの鐘	フォビドゥン 編	マンガ	個人	愛する源氏物語	佐方賢一	小説	個人	源氏物語	石井勝彦	小説	個人	源氏物語	石井勝彦		
	藤原のついで	かずし 朝浩	マンガ	個人	源氏物語	高山由紀子	小説	個人	源氏物語	ア・ウェイリー	小説	個人	源氏物語	ア・ウェイリー		
	娘のたぬきなら死ねない	くさし 朝浩	マンガ	個人	源氏物語	内田文子	小説	個人	源氏物語	内田文子	小説	個人	源氏物語	内田文子		
	源氏物語の謎	藤原 隆	図書	個人	源氏物語	藤原 隆	図書	個人	源氏物語	藤原 隆	図書	個人	源氏物語	藤原 隆		
源氏物語	神作家源氏のありえない日々	D・キッサン	マンガ	個人	源氏物語	藤原 隆	図書	個人	源氏物語	今泉忠雄	小説	個人	源氏物語	今泉忠雄		
	ハタリ源氏物語	魔夢峰史	マンガ	個人	源氏物語	いしづか 洋子	小説	個人	源氏物語	あやとき草子 1巻	遠藤 蓮	小説	個人	源氏物語	あやとき草子 1巻	
	はやげん!	花園あすき	マンガ	個人	源氏物語	平安姫君の随筆がかり	遠藤 蓮	小説	個人	源氏物語	田辺聖子	小説	個人	源氏物語	田辺聖子	
	源氏物語	長谷川法聖	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	月下の君	朝木あこ	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	果敢源氏物語	坂田 龍	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	マンガでわかる源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	長谷川法聖	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
源氏物語	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	
	源氏物語	稲崎 良	マンガ	個人	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	源氏物語	

2. 藤原道長の金峯山詣で

資料名など	作者・訳者ほか	種類	原本成立時期	備考
藤原道長	京都国立博物館	図録	江戸	個人
金峯山縁起物語の研究	帝室博物館	図書	昭和	個人
雲隠六帖	義楚	図書	平安	個人
栄華物語 上（日本古典文学大系）	松村博司 ほか校注	図書	平安	館蔵
藤原道長『御堂日記』上巻	倉本一宏 監訳	図書	平安	個人
大日本古記録 第10 小日記・小日記下・編年小日記目録	東京大学史料編纂所	図書	平安	個人
金銅藤原道長縁起	館作模造	—	—	現品は国宝

3. 平安文学で表現された吉野

資料名など	作者・訳者ほか	種類	原本成立時期	備考
どりかへばや物語	不詳	図書	平安	館蔵
日本書紀	景成	図書	平安	館蔵
今昔物語	不詳	図書	平安?	個人
枕草子（日本古典文学全集）	松尾忠成ほか校注	図書	平安	個人

主要参考文献（本文中で紹介したものは除く）

図書名	作者・訳者ほか	出版社	刊行年	形式
金峯山古史	首藤吾樹	総本山金峯山寺	2004	図書
藤原行成『権記』上	倉本一宏	講談社学術文庫	2011	文庫
藤原道長の権力と欲望『御堂日記』を読む	倉本一宏	文春新書	2013	新書
藤原道長の日常生活	倉本一宏	講談社現代新書	2013	新書
源氏物語（新編日本古典集成 新装版）	紫式部 ほか	新潮社	2014	図書
源氏物語を知る辞典 新装版	西沢正史 編	東京堂出版	2023	図書

令和6年 吉野歴史資料館特別陳列

光ありとみし

平安文学と藤原道長でみる吉野

— 陳列解説資料 —



【企画・展示】吉野歴史資料館 【会期】令和6年3月16日～12月1日（予定） ※本紙中には、イラストAC、カシミール3D を利用しています。

2024年は「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に認定されて20周年、そして、吉野山が国指定の霊跡など（史跡・名勝）になって100周年にあたります。「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部にあたる吉野山は、今年の大河ドラマ「光る君へ」で紹介される平安時代、多くの方が信仰の目的で訪れた場所でありました。そのため『源氏物語』の中で、その信仰の一端がうかがえるほか、吉野町管内に金銅藤原道長経筒などの国指定文化財がのこります。この陳列では『源氏物語』を起点に、藤原道長と吉野とのかわりや平安時代頃の吉野観、さらには関連する文学作品や文化財の情報などを紹介して、世界遺産20周年・吉野山史跡名勝指定100周年を祝いたいと思います。

1. 『源氏物語』の展開と吉野

令和6年は『源氏物語』の作者・紫式部の生涯を描く大河ドラマ「光る君へ」が放映されます。『源氏物語』は、日本だけでなく世界中で読み継がれてきた、著名な古典作品の一つです。たとえば、『更級日記』の「かたがて」(寛仁4(1,020)年)では、『源氏物語』の「あこがれる」という語が用いられています。その後も、日本に限っても様々な時代に解説書（例えば、重要文化財として国に指定された『花鳥余情』など）がつくられてきました。また、鎌倉時代以降には、続編がつくられたり（例えば、『山道の露』や『雲隠六帖』）、リメイクやオマージュ作品がつくられています（例えば、『修紫田舎源氏』や『好色一代男』）。現代では、マンガ版の『源氏物語』や現代語訳、解説書がつくられるなどしています。

もしかすると皆様も、小説やマンガなどで、知らず知らずに『源氏物語』にふれた、という経験をおもちなのではないでしょうか？

さて、そんな『源氏物語』ですが、吉野を指す言葉がワンフレーズだけ、出てくるのをご存じですか？それは、『夕顔の段』で登場するのですが…。まずは、その部分のみを抜粋してご紹介します。ただ、「吉野」と直接は書かれていないので、どの言葉が吉野を指しているか、探してもらえと幸いです。

さて、吉野を指す言葉がどれか、お気づきになりましたか？当時、吉野・大峯は御堂や金峯山と呼ばれ、御堂精進とよばれる精進演高をしなければ登ることができませんでした。そして、御堂（金峯山）に登った人物の一人に「光る君へ」の重要登場人物の一人、藤原道長がいたのでした。



